



特集 資料室ってこんなところ!

2014年4月、人と防災未来センターは2002年の開館から12年が経ちました。開館当初、資料室は西館(当時の「防災未来館」)2階にありましたが、2007年10月に5階へと移転しました。それから7年、収集された震災資料(一次資料)の整理と保存は現在も続き、随時集めてきた震災・防災関連の刊行物(二次資料)も約4万点に達しました。今年度は、資料室のメンバーも変わり、資料検索システムも大きくリニューアルされました。

そこで、vol.54では、資料室の所蔵資料に含まれるものと、これまで少しずつ変化を遂げてきた(現在の資料室)にまつわる情報について、いま一度整理・説明していきたいと思えます。これからお越しの際の手引きとなりますように。

人と防災未来センターの所蔵資料

一次資料

総数186,676点
(平成26年3月末現在)

阪神・淡路大震災の被災状況を物語るもの、被災地の復旧・復興過程において使用・作成されたもの

*センター内の収蔵庫に保管されています。
閲覧申請書を提出いただき、公開条件に沿って閲覧できます。



モノ

1,424点

5時46分で止まった時計、ボランティア基地や仮設住宅の看板、火災で溶けたガラスや硬貨、贈られた千羽鶴など



紙

177,946点

被災者の日記や手記、避難所の日誌、ボランティアの活動記録、NPOやNGOのニュースレター、避難所や仮設住宅で配布されたチラシなど



写真

6,036点
(126,332枚)

倒壊した建物や被災した町並み、救援活動やボランティア活動の様子、仮設住宅、定点観測で撮影されたまちの風景などの記録写真



映像
音声

1,270点

被災者が撮影した震災時の映像、地元コミュニティFM局のテープ、ボランティア活動や復旧・復興の様子の映像、励ましの声など



阪神・淡路大震災後、震災資料収集・保存の経緯

震災資料の収集は、1995年10月から、兵庫県を委託を受けた(財)21世紀ひようご創造協会によって、「震災とその復興に関する資料・記録の収集・保存事業」として始まりました。

1998年4月以降は(財)阪神・淡路大震災記念協会がその事業を引き継ぎ、収集事業を継続するとともに、公開基準を検討しました。

2000年6月からは、兵庫県による「緊急地域雇用特別交付金事業」を活用した大規模な震災資料の調査事業が、約2年間にわたって行われました。のべ約450人の調査員がNPO、各種団体・組合、復興公営住宅、事業所、学校、まちづくり協議会等を訪問し、ビラ、チラシ、ノート、メモ、写真、避難所で使用された物などの「生の」資料、いわゆる一次資料(原資料)を中心に収集し、これに、(財)21世紀ひようご創造協会や(財)阪神・淡路大震災記念協会が収集したものを加えて、収集資料数は約16万点に達しました。

その後も継続的に収集し、平成26年3月末で186,676点となっています。

二次資料

総数38,661点

阪神・淡路大震災およびその他の災害・防災関連の刊行物

*資料室内に開架しています。
どなたでも自由に閲覧できます(貸出は一部のDVD・ビデオのみ)



図書

12,583点

阪神・淡路大震災関連資料、災害・防災関連図書、地域防災計画書、体験者手記、報道写真集、航空写真集、震災関連の小説や児童書など



雑誌

18,599点

学会誌、建築・自然学系雑誌、防災関連雑誌など



視聴覚
資料

889点

阪神・淡路大震災や防災関連の映像ビデオ、DVD、音楽や音声が取められたCD、CD-ROMなど



その他

6,590点

地図、リーフレットや広報誌、阪神・淡路大震災10周年対応記録、PDFをプリントアウトしたガイドラインなど



本の並び順について

資料室全体図



■ 資料のある場所はこの色

書架内の図書は資料室独自の分類順に並べられています。分類法は以下の通りです。各分類記号の中身を更に詳しく分類するためにカタカナ表記の内容分類を使用しています。内容分類以下はタイトルの五十音順に並んでいます。

①行政機関発行

- 1-A: 国
- 1-B: 兵庫県
- 1-C: 神戸市
- 1-D: 神戸市以外の被災市町
- 1-E: その他
地方自治体

④社会科学

- 4-A: 法律・税金・政治
- 4-B: 経済・産業・労働
- 4-C: その他

②総合

- 2-A: 総合関係資料 (大学)
- 2-B: 総合関係資料 (一般)

⑤市民生活

- 5-A: 福祉・医療
- 5-B: 防災・消防・救助
- 5-C: ボランティア
・NGO・NPO
- 5-D: 学校出版物
・教育一般
- 5-E: 宗教・生活
・文化・文芸
- 5-F: その他

③自然科学

- 3-A: 地震学
- 3-B: 交通インフラ
・ライフライン
- 3-C: 建築・住宅・土木
- 3-D: 自然科学の総合
- 3-E: その他

⑨参考図書

- 9-A: 百科事典・辞典
- 9-B: 市史
- 9-C: その他

★ 例えば

柏木宏氏の「ボランティア活動を考える」という本は、分類記号「5-C」、内容分類「ボラ」です。なので、奥から2番目の棚、5-C/ボラと表記のある部分の八行後半あたりにあることとなります。

ウェブサイト・検索システムについて

システムリニューアル!!



今年度から当センターの公式ウェブサイトが新しくなりました。また、6月から新しい資料検索システムの本格稼働がスタートしました。以前のものよりも詳しい検索ができるようになっています。新しくなったシステムをぜひご活用ください!



震災資料横断検索



神戸大学附属図書館震災文庫、兵庫県立図書館フェニックスライブラリーの阪神・淡路大震災関連資料と、当資料室の二次資料のデータを一括して検索できるシステムが稼働しています。

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/crosssearch.html>

検索語句入力

震災資料横断検索

検索実行

結果表示

人と防災未来センター
所蔵資料

震災文庫
所蔵資料

県立図書館
所蔵資料



資料室では震災資料に関する ご相談をお受けしています

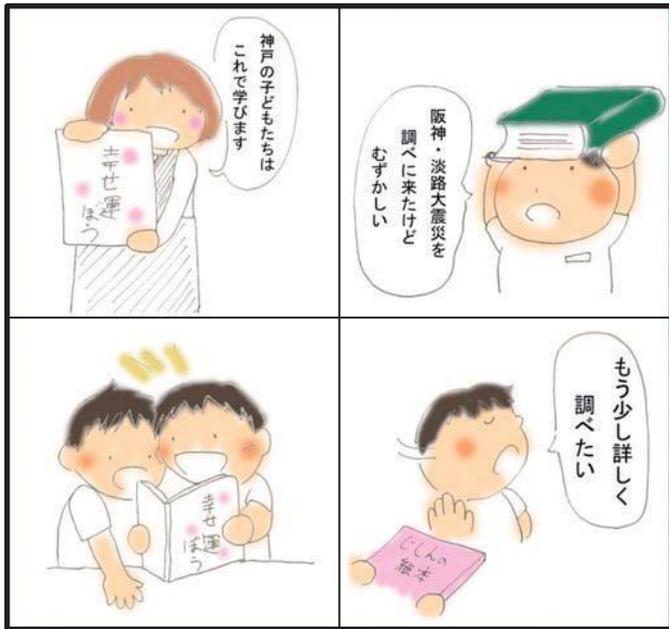


資料室では阪神・淡路大震災や防災などに関する資料についてのご相談にお答えしています。このような資料はないか、こういうことを調べるのに適切な資料はどれかなど、なにか疑問やご関心をお持ちであれば、お気軽にお問合せください。なお、事実確認のご質問については、資料のご紹介にとどまることとなります。あらかじめご了承ください。

直接のお問い合わせ以外に、お電話・ファックスでのご相談もお受けしています。

これまでの相談事例

1.大阪の小学生からのご相談



- ◎お子さんのご相談も大歓迎です
- ◎ご要望に合わせて資料をご紹介します

2.東北の方からのご質問



- ◎地元の方でも、遠くの方でもお気軽に！
- ◎数字や事実関係の確認には、該当する資料をご紹介します

資料紹介

震災後の鉄道関係資料 高橋正雄氏資料

阪神・淡路大震災当時、関西の私鉄企業に勤めていた高橋正雄氏より資料を寄贈していただきました。資料群は大きく分けて3つの内容によって構成されています。

- ①**鉄道関係資料** 鉄道会社に勤めていたことから、震災後の鉄道会社のダイヤや路線の変更に関する文書や、車両や駅舎の被害に関する写真が含まれます。
- ②**地質・植物関係資料** 高橋氏は地質・植物に対する造詣が深く、六甲山の地質や自然に関する地図や図書などの2次資料が含まれています。2次資料の一部は、資料室に開架しています。
- ③**被災歴史資料救出関係資料** 高橋氏は、震災によって被災した地域の歴史資料の救出活動にもボランティアとして参加していました。その過程で収集された活動の記録が含まれています。この活動への高橋氏の参加については、『地域史研究』第25巻第1号(尼崎市立地域研究史料館、1995年)に参加記が掲載されています。

以上のうち、特に①からは、点数は多くないものの、私鉄の被害状況や、路線復旧の過程についてうかがうことができます。



閲覧をご希望の方は、お気軽に資料室スタッフまでお声かけください。



しらないとこわいじしん

～1896年陸羽地震を忘れない～

しらないとこわいじしん

～1914年秋田仙北地震を忘れない～

秋田大学地域創生センターの水田敏彦教授より、自作の防災絵本をご恵贈いただきました。1896年8月31日に発生し秋田県では5682棟が全壊し205人が亡くなった陸羽地震、1914年3月15日に発生し640棟が全壊し94人が亡くなった仙北地震。なまはげの「あっきー」と「なます先生」が当時にタイムスリップするお話です。地震や津波のメカニズムをキャラクターと一緒に学べるページや、大人向けに地震についての詳しい資料も掲載されています。仙北地震から100年経って作られた、貴重でとても愛らしい絵本です。



リアス・アーク美術館常設展示図録

東日本大震災の記録と津波の災害史

気仙沼市のリアス・アーク美術館よりご恵贈いただいた常設展の図録です。東日本大震災直後から震災被害記録や調査活動に取り組み続け、2013年4月、美術館の全面再開に伴ってこちらの展示が新設されました。

膨大な資料から厳選された「現場写真」「被災物」「歴史資料」の展示写真に加えて「東日本大震災を考える我われのキーワード」として調査活動から見えてきたという課題や情報も綴られています。被災の状況や展示の内容だけではなく、未来へと続く思いが見えてくるような一冊です。

ワークショップと資料室展示のお知らせ

夏休み防災未来学校2014 資料室企画ワークショップ

「災害から思い出の品を助けよう！」

8月9日(土) @西館1Fガイダンスルーム2

人と防災未来センターで開催される「夏休み防災未来学校」に伴い、資料室は、ワークショップ「災害から思い出の品を助けよう！」を実施します。8月9日(土) ①13:00～ ②14:30～(各回60分)、西館1Fのガイダンスルーム2において行います。

災害によって、もしも大切な本や書類、写真が水に濡れてしまっても、諦めず、適切な手当てをすれば大丈夫です。水に濡れたり泥で汚れた写真・図書の応急処置の体験を通して、身近な日用品を用いた被災資料のクリーニングの方法や考え方を学びましょう。小学生から一般までを対象に、各回定員20名です。

また、西館5Fの資料室では、関連展示「被災資料を助ける人々」を、8月1日(金)から31日(日)まで開催します。

阪神・淡路大震災をきっかけに、災害で被災してしまった地域や家族の思い出・記録を残すためのボランティア活動が始まり、いまも各地で取り組まれています。東日本大震災の被災地でも、津波で被災した資料の救出・修復活動が続けられています。資料室では、このような思い出や記録を未来へ伝える活動の様子を、写真で展示します。

こちらもぜひお立ち寄りのうえ、ご覧ください。

関連展示

「被災資料を助ける人々」

8月1日(金)～31日(日) @西館5F資料室



2011年紀伊半島大水害による被災資料群(和歌山県日高川町)



2011年東日本大震災後、神戸学院大学生による東北でのボランティア活動



震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。震災後、すぐには手放せなかったものの、震災の出来事を伝えるために活用したいとお考えの方は、ぜひ一度資料室までご相談ください。

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念

人と防災未来センター 資料室(西館5階)

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

TEL.078-262-5058 FAX.078-262-5062

HPアドレス <http://www.dri.ne.jp>

開室時間 9:30～17:30(展示施設とは時間が異なりますので、ご注意ください)

閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日) 12月29日～1月3日

資料室は無料でご利用いただけます